

## 文化ファッション研究機構 活動報告

タイトル：若手教員研究奨励金成果発表会

日時：平成28年12月16日（金）17：00～19：00

場所：A154講義室

参加者：発表者5名、聴講者約60名

活動内容：若手教員研究奨励金とは、文化ファッション研究機構が、文化学園全体の研究を発展させるために、若手教員に研究奨励金を交付するものです。今回は、文化学園大学の教員5名が、研究成果を発表しました。

発表された若手教員の研究テーマ等は、以下に示すとおりです。いずれも、若い力による熱気にあふれてオリジナリティーに満ちたものであり、とても意義深い研究成果発表会となりました。

（順不同）

ファッション・アイデンティティの形成と影響についての基礎研究  
岡林 誠士（服装社会学研究室）

日本において好まれるムスリム女性のファッションについての考察—大学生が無理無  
女性のヴェールに抱く意識調査を踏まえて—  
高木 美希（服装デザイン学研究室）

KIMONO×KNIT—ニットで広がる着物の世界— 作品制作とコーディネート提案  
近藤 静香（染織研究室）

国指定重要無形民俗文化財「根子番楽」 衣装の研究および衣装復元  
角谷彩子（染織研究室）

日常着による摩擦が皮膚表面微細三次元構造に及ぼす影響  
—下衣衣服素材に着目して—  
松井 有子（機能デザイン学研究室）